



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 ヨシコン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5280 URL <https://www.yoshicon.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田尚洋
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理本部長(氏名) 杉本貞章 (TEL) 054-205-6363
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,878	△31.1	296	△52.3	877	△8.6	586	△17.4
2020年3月期第3四半期	12,883	1.8	622	△46.0	959	△22.4	710	△17.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 613百万円(△17.8%) 2020年3月期第3四半期 746百万円(△7.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	79.09	—
2020年3月期第3四半期	97.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	40,932	20,534	50.1
2020年3月期	37,261	20,073	53.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 20,504百万円 2020年3月期 20,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	47.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2021年1月29日)公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	11.4	1,600	119.8	2,200	83.7	1,410	35.6	189.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年1月29日)公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	8,030,248株	2020年3月期	8,030,248株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	532,407株	2020年3月期	732,407株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	7,417,841株	2020年3月期3Q	7,269,911株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、極めて厳しい状況で推移いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞時期から、期の後半はGoToキャンペーンの実施など経済活動が徐々に再開したものの、直近では感染の再拡大が深刻化しており、先行きは極めて不透明な状況が続いております。また海外経済も米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済停滞の長期化などにより引き続き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する不動産業界でも厳しい状況で推移いたしました。このような環境下にあつて当社グループの不動産事業分野では、流動性の高い不動産を確保し企業誘致や宅地造成などの提案や在庫分譲マンションの早期完売などの積極的な営業活動を推進してまいりました。また、投資法人の運用に必要な許認可の取得を進めるなど、不動産証券化事業の活動を一層強化してまいりました。

建設土木業界に属するマテリアル事業分野では、工場やラインの集約化及び製品群の絞り込みなど生産性の向上や原価低減に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は88億78百万円（前年同四半期比31.1%減）、営業利益は2億96百万円（前年同四半期比52.3%減）、経常利益は8億77百万円（前年同四半期比8.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億86百万円（前年同四半期比17.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①レジデンス事業

レジデンス事業におきましては、在庫分譲マンションの引渡しが行われましたが、減収減益となりました。

この結果、売上高は9億18百万円（前年同四半期比45.5%減）、セグメント利益(営業利益)は59百万円（前年同四半期比18.6%減）となりました。

②不動産開発事業

不動産開発事業におきましては、分譲宅地や商工業施設用地などの引渡しが実現したことにより増収増益となりました。

この結果、売上高は43億2百万円（前年同四半期比25.2%増）、セグメント利益(営業利益)は7億27百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。

③賃貸・管理等事業

賃貸・管理等事業におきましては、食品メーカー工場の大型請負工事の引渡しがあつた前年同四半期と比べ、減収減益となりました。

この結果、売上高は17億8百万円（前年同四半期比60.1%減）、セグメント利益(営業利益)は1億28百万円（前年同四半期比68.5%減）となりました。

④マテリアル事業

マテリアル事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う工場一部休止などの稼働率低下で固定費負担が大きく、減収減益（セグメント損失）となりました。

この結果、売上高は10億62百万円（前年同四半期比55.5%減）、セグメント損失(営業損失)は1億77百万円（前年同四半期は1億47百万円のセグメント損失）となりました。

⑤その他

その他事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い飲食店での業務用缶飲料の買い控えなどで、缶飲料製造の売上高が減少したことにより、減収減益となりました。

この結果、売上高は8億86百万円（前年同四半期比19.0%減）、セグメント利益(営業利益)は35百万円（前年同四半期比42.5%減）となりました。

なお、記載金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は409億32百万円（前連結会計年度比9.9%増）となりました。

流動資産は、現金及び預金などが減少したものの、販売用不動産などが増加したことにより、306億87百万円（前連結会計年度比13.4%増）となりました。固定資産は、投資有価証券などが増加したことにより、102億44百万円（前連結会計年度比0.4%増）となりました。

(負債)

流動負債は、支払手形及び買掛金などが減少したものの、短期借入金やその他に含まれる前受金などが増加したことにより、183億99百万円（前連結会計年度比18.4%増）となりました。固定負債は、長期借入金の増加などにより、19億98百万円（前連結会計年度比21.3%増）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は205億34百万円（前連結会計年度比2.3%増）となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加などによるものであります。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は50.1%（前連結会計年度比3.7ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月15日に公表いたしました業績予想から修正しております。また、2021年3月期の期末配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,843,228	1,413,542
受取手形及び売掛金	692,861	663,178
商品及び製品	372,823	213,159
仕掛品	2,081	25,531
原材料及び貯蔵品	38,801	28,339
販売用不動産	23,203,697	27,401,112
未成工事支出金	133,760	434,044
その他	768,121	510,985
貸倒引当金	△962	△2,124
流動資産合計	27,054,413	30,687,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	560,722	531,434
土地	1,957,173	1,947,385
その他（純額）	110,502	115,849
有形固定資産合計	2,628,398	2,594,670
無形固定資産	80,851	66,331
投資その他の資産		
投資有価証券	7,063,476	7,149,884
繰延税金資産	134,113	143,898
その他	369,789	358,606
貸倒引当金	△69,139	△68,852
投資その他の資産合計	7,498,240	7,583,537
固定資産合計	10,207,491	10,244,539
資産合計	37,261,904	40,932,308
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,474,839	487,766
短期借入金	11,257,584	13,974,717
1年内返済予定の長期借入金	1,063,968	1,041,968
未払法人税等	160,744	86,784
賞与引当金	54,324	20,000
役員賞与引当金	70,000	—
その他	1,460,060	2,787,912
流動負債合計	15,541,520	18,399,148
固定負債		
長期借入金	1,065,206	1,387,230
その他	582,005	611,114
固定負債合計	1,647,211	1,998,344
負債合計	17,188,731	20,397,492

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,555,182	3,598,300
利益剰余金	16,848,486	17,106,730
自己株式	△488,816	△355,334
株主資本合計	20,014,852	20,449,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,346	55,123
その他の包括利益累計額合計	38,346	55,123
非支配株主持分	19,974	29,995
純資産合計	20,073,173	20,534,815
負債純資産合計	37,261,904	40,932,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	12,883,074	8,878,094
売上原価	10,887,583	7,214,548
売上総利益	1,995,491	1,663,546
販売費及び一般管理費	1,373,093	1,366,808
営業利益	622,398	296,737
営業外収益		
受取利息	243	187
受取配当金	11,859	12,909
仕入割引	12,062	5,469
匿名組合投資利益	354,820	509,204
受取手数料	3,922	2,566
その他	10,404	122,564
営業外収益合計	393,311	652,902
営業外費用		
支払利息	55,321	57,014
損害賠償金	—	12,000
その他	657	3,012
営業外費用合計	55,978	72,027
経常利益	959,731	877,613
特別利益		
固定資産売却益	140,252	31,383
特別利益合計	140,252	31,383
特別損失		
固定資産売却損	—	563
固定資産除却損	14,432	13,226
特別損失合計	14,432	13,789
税金等調整前四半期純利益	1,085,551	895,207
法人税、住民税及び事業税	307,213	316,908
法人税等調整額	68,320	△18,368
法人税等合計	375,534	298,539
四半期純利益	710,017	596,668
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△29	10,021
親会社株主に帰属する四半期純利益	710,047	586,646

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	710,017	596,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,404	16,777
その他の包括利益合計	36,404	16,777
四半期包括利益	746,422	613,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	746,452	603,423
非支配株主に係る四半期包括利益	△29	10,021

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社は、2020年7月13日開催の取締役会決議に基づき、2020年7月30日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式200,000株の処分を行っており、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が43,117千円増加、自己株式が133,482千円減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間末において資本剰余金は3,598,300千円、自己株式は355,334千円となっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,684,292	3,436,575	4,280,373	2,387,416	11,788,658	1,094,415	12,883,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	4,698	252,653	257,351	46,088	303,440
計	1,684,292	3,436,575	4,285,071	2,640,070	12,046,010	1,140,504	13,186,515
セグメント利益又は損失(△)	72,452	612,027	409,061	△147,624	945,918	62,297	1,008,215

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	945,918
「その他」の区分の利益	62,297
セグメント間取引消去	35,300
全社費用(注)	△421,117
四半期連結損益計算書の営業利益	622,398

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	918,001	4,302,764	1,708,940	1,062,279	7,991,987	886,107	8,878,094
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	4,517	265,156	269,674	3,950	273,624
計	918,001	4,302,764	1,713,458	1,327,436	8,261,661	890,058	9,151,719
セグメント利益又は損失 (△)	59,010	727,351	128,722	△177,688	737,396	35,816	773,212

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	737,396
「その他」の区分の利益	35,816
セグメント間取引消去	16,978
全社費用 (注)	△493,453
四半期連結損益計算書の営業利益	296,737

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(特定子会社の異動)

当社は、2021年1月26日開催の取締役会において、当社の100%子会社である東海道リート・マネジメント株式会社が設立することを決議した「東海道リート投資法人」（以下、「本投資法人」といいます。）に対し出資を行うことを決議いたしました。なお、本投資法人の出資の額が当社の資本金の100分の10以上に相当し、特定子会社となります。

1. 出資の目的

当社は、不動産収益の拡大を推進する事業を創出することを目的として、本投資法人に対し出資を行います。

2. 出資する子会社の概要

- ① 名称 東海道リート投資法人
- ② 所在地 東京都千代田区永田町二丁目14番3号
- ③ 事業の内容 中長期にわたる資産の運用（主として不動産等資産）
- ④ 出資金 2億円
- ⑤ 設立の時期 2021年2月1日（予定）
- ⑥ 出資比率 当社 100%